


しまねの土地改良だより

平成23年4月1日発行

 水土里ネット島根

■ 新年度にあたって —しまねの農業・農村をもっと元気に— 会長 宇津徹男

会員の皆様には、日頃より本会運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格段のご支援ご協力を賜わり深く感謝申し上げます。

はじめに、3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震は、3週間たった今でも行方不明者はじめ被害の全容がまだはっきりしない状況で、まさに国難とも言える未曾有の大災害となりました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げ、被災地が一日も早く復旧・復興されることを願っております。

さて、政府は昨年3月、10年後の32年に食料自給率を50%に引き上げることを柱にした新たな「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定しました。食料自給率の向上と農業の再生においては、農地の有効活用がその前提であり、農業農村整備事業は、安定した農業用水と優良農地を確保するうえで、きわめて重要であります。

そうした中、島根の農業農村は県土の9割が中山間地域という条件不利地を抱え、過疎化・高齢化や農業の担い手不足など、農業生産の停滞に加え、近年は集落機能の維持すら危ぶまれる状況も出てきております。しかしながら、ほ場整備を契機とした集落営農や担い手への集約など、地域農業の新たな構築に向け頑張っている地域も多く、また農業生産を支える農地や農業用水路など、地域資源を地域の手で維持・保全・整備し、地域力の維持発展に努力している組織も多くあります。

今日、地球規模で「食料」「水」「エネルギー」の逼迫や枯渇の懸念も出てきていますが、本来日本の農業は、自然条件的にきわめて持続可能性が高く、農業に適した自然風土であります。特に豊かな自然、長い歴史のうえに積み上げられた文化、温かい地域社会に恵まれた島根は、国民的に関心が高まっている安全・安心な農産物の生産に最適な地域であり、農業生産を通じ、食料自給率の向上、防災面も含め国土保全機能を充分発揮出来る地域であります。

水土里ネット島根としましても、安定した農業経営、活力ある島根の農業生産を実現するため、その条件整備であります農業農村整備事業の推進、地域資源保全活動、農地情報データベースの利活用などを重点的に取り組んで参りますので、会員各位をはじめ関係機関の皆様の尚一層のご理解ご支援をお願い致します。

・新年度にあたって（会長 宇津徹男）	1
・第52回全国土地改良区功労者表彰	2
・しまねの農村景観フォトコンテスト	
・平成22年度土地改良区役職員等研修会開催	3
・水利施設利用小水力発電導入促進事業について	
・雲南市土地改良区合併仮調印式	4
・今後の主な予定	
・お知らせ	

■ 第52回全国土地改良区功労者表彰

長年農業農村の発展に尽力され、農業農村整備事業に功績のあった団体・個人に対し、全国水土里ネットによる土地改良功労者表彰が毎年実施されており、本年度（第52回）は次の団体・個人が受賞されました。

○団体表彰

金章 雲南市木次町土地改良区

銀賞 揖屋干拓地土地改良区

○個人表彰

西尾淳三（平田中央土地改良区 理事）

伊藤徳悦（斐川町土地改良区 事務局長）

尚、表彰式は3月29日東京都において、全国水土里ネット通常総会に併せ開催予定でありましたが、この度の東北地方太平洋沖地震により延期（開催日未定）されました。

■ しまねの農村景観フォトコンテスト

島根県と水土里ネット島根が共催で開催しています「しまねの農村景観フォトコンテスト」の審査会を2月21日開催しました。

今回は685点の応募があり、最優秀賞1点、部門賞4点、島根県緑化推進委員会会長賞1点、審査委員特別賞6点、入選10点、佳作10点、山陰フジカラー賞1点、農地・水特別賞1点が入選しました。

本コンテストは平成9年から実施しており今回で14回目となります。入賞された作品展示は、6月1日～6日まで島根県立美術館にて展示されたあと、県内各地でのイベント等で展示される予定です。展示のご希望があればご連絡ください。

尚、表彰式は6月5日（日）島根県立美術館で午後1時から行います。



最優秀賞

「連携」

近堂智規／撮影場所 浜田市



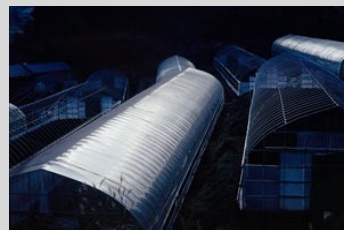
部門賞（風景）

「寒風の朝（かんぷうのあさ）」
田中作夫／撮影場所 斐川町



部門賞（人物）

「祭りの日」
橋本潤子／撮影場所 出雲市



部門賞（施設）

「夕暮れの高原」
石倉貞昭／撮影場所 奥出雲町



部門賞（イベント）

「田植神事」
小林茂雄／撮影場所 江津市

応募点数

風景	人物	施設	イベント	計
300 (246)	209 (156)	53 (44)	123 (113)	685 (559)

（ ）内はデジタル写真

（入賞作品は、本会ホームページでご覧になれます）

■ 平成22年度土地改良区役職員等研修会開催

2月24日・25日に、会員（市町村職員、土地改良区役職員）及び農業農村整備関係県職員の方を対象とした研修会を、本会会議室にて開催し、85名の参加をいただきました。

平成22年度農業農村整備予算が大幅な削減となり、農業農村関係者はその将来に大きな不安を抱えています。そうした中で平成23年度予算、今後の展開方向について、また、農地や農業水利施設の維持管理の中核的な存在である土地改良区の基本的知識等々の研修でした。また事前に会員から質問等も受け、それに対して県担当者から回答も行われました。

研修内容	講師
「田んぼの生き物」調査について	(社) 農村環境整備センター 渡部部長
農業農村整備の平成23年度予算と今後の動向	全国水土里ネット 奥田部長
農業農村整備を巡る最近の情勢	農林水産省農村振興局 室本首席農業土木専門官
土地改良区の仕組み	島根県農村整備課 内田用地管理G主任
土地改良区の財務	島根県農村整備課 早弓用地管理GL
質疑応答	島根県農村整備課 来海用地管理G企画員
水土里ネットからの情報提供 ・水土里情報システム活用事例 ・農地・水保全管理支払交付金	水土里ネット島根 大岩水土里情報センター所長 渡部資源保全担当リーダー

※この研修会は、毎年実施していますので、是非ご参加ください（11月頃予定）。

また、研修内容につきまして、ご要望等ありましたらご連絡ください。

■ 水利施設利用小水力発電導入促進事業について

2月25日、本会において島根県小水力発電推進協議会を開催いたしました。この協議会は、農村振興再生可能エネルギー導入支援事業要領に基づき設置される協議会で、農業水利施設を活用した小水力発電の導入を検討している島根県内の市町村や土地改良区等に対して技術支援を行うことを目的としています。本事業は本会が事業主体となり、雲南市の塩田ダム及び奥出雲町の坂根ダムにおいて放流管に発電水車を設置した場合、事業として導入可能かどうかの検討を行いました。

これについて、島根県2名、関係市町村3名、関係土地改良区1名及び専門技術者として農村工学研究所から1名の委員の派遣をいただき、第1回10月28日、第2回12月27日に続き、今回、検討結果の最終報告を行い、この結果についてご討議いただきました。各委員からは、比較案に対する意見や、買い取り価格に対する意見などご討議いただきましたが、両地区とも経済的に事業化は厳しいとの結論に至りました。一番問題となったのは、発電水車の価格で、高落差で小水量に対応できる水車の型式が限られ、かなり高額であったことです。

しかしながら、二酸化炭素削減による温暖化防止、さらには福島原発事故などの影響によりさらなる小水力発電の導入が期待されます。今後、導入件数が増加すれば、経済性に見合う価格の開発も進むものと期待されます。



■ 雲南市土地改良区合併仮調印式

平成23年2月22日、雲南市土地改良区合併予備契約調印式が島根県東部農林振興センター園山所長立会のもと、市内のサンワーク木次（おろち湯ったり館）にて執り行われました。これにより、雲南市土地改良区設立委員会を中心に平成23年10月1日の合併に向けて本格的な事務手続きを進めることとなります。

雲南市では、これまで、旧町村毎に大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田町・掛合町の6つの土地改良区がそれぞれ地域に密着した活動を行っていましたが、雲南市の合併に伴い「一市一土地改良区」への機運が高まり、平成18年度から雲南市、合併推進検討委員会・同幹事会、合併推進協議会・同幹事会、理事長会により繰り返し準備検討がなされ、この度の調印式を迎えることとなりました。

合併後はその名称を「雲南市土地改良区」、組合員数8,866人を抱える県下最大規模の土地改良区となります。新土地改良区は雲南市と一体となり、地域農業の発展のために運営や事業に取り組むことが期待されるところです。



■ 今後の主な予定

- 4月15日 しまね水土里情報センター利用推進協議会通常総会（本会）
島根県農業農村整備推進協議会幹事会（本会）
- 4月18日 島根県農地・水・環境保全協議会理事会・通常総会（本会）
島根県農業農村整備推進協議会通常総会（本会）
水土里ネット島根第1回役員会（本会）

■ お知らせ

・新規職員採用（4月1日付）

氏名 竹田和也（22才） 配属 技術支援グループ 出身 島根県益田市

・平成24年度新規採用職員募集

本会は平成24年4月採用予定の職員を募集しております。

詳しくは本会ホームページ又は最寄りのハローワークまで。

・東北地方太平洋沖地震災害支援金について

3月18日本会では、被災地の一日も早い復興を願い島根県庁支援金窓口に募金いたしました。

併せて職員からの募金も行っております。（県ホームページに公表されております）

尚会員におかれましても、それぞれの組織で積極的に支援金募金活動を実施していただきますようお願いいたします。

みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp